

第2章 平成30年度事業実績

第 1 総務企画部

1 総務企画課

(1) 地域保健医療福祉の総合的な推進

1 厚生統計関係調査事業

国の厚生統計施策の基礎資料を得るとともに、保健・医療・福祉分野の施策を効果的・効率的に推進するため、各種統計調査を実施しました。

(1) 保健衛生統計調査

- ア 人口動態調査（毎月）
- イ 医療施設動態調査（毎月）
- ウ 病院報告（患者票：毎月）
- エ 衛生行政報告例（年度報：5月、隔年報）
- オ 地域保健・健康増進報告（年度報：6月）
- カ 国民生活基礎調査（調査員説明会：4月、調査実施：6月～7月）
- キ 社会保障・人口問題基本調査（7月）
- ク 受療行動調査（調査員説明会：10月、調査実施：11月）
- ケ 医療施設静態調査（調査日：10月1日）
- コ 患者調査（調査実施：10月）

(2) 社会福祉統計調査

福祉行政報告例（月報、年度報）

(3) 公衆衛生資料等の整備

人口動態調査等の統計データを収集し、「図表で見る福島県相双地域の保健・医療・福祉の動向」を作成しました。

2 地域保健医療福祉推進事業

地域における保健・医療・福祉の連携を強化し、地域の実態に即した保健医療福祉施策を推進するため、関係各部門の委員からなる相双地域保健医療福祉協議会を開催しました。

開催月日：平成 31 年 2 月 20 日

開催場所：県環境創造センター環境放射線センター 大会議室

議 事：福島県相双地域保健医療福祉推進計画の進行状況について

■相双地域保健医療福祉協議会委員名簿

(平成30年度～)			
No	区 分	関 係 機 関 (役 職 名)	氏 名
1	医療①	相馬郡医師会長	船橋 裕司
2	②	双葉郡医師会長	堀川 章仁
3	③	相馬歯科医師会長	菅野 明彦
4	④	相馬薬剤師会長	八牧 将彦
5	⑤	福島県看護協会相双支部長	湯澤 君子
6	⑥	南相馬市立総合病院長	及川 友好
7	保健①	相双地区食生活改善推進協議会長	菅野 一代
8	衛生①	相馬地方食品衛生協会会長	松永 雄一
9	福祉①	相双地区特別養護老人ホーム連絡協議会長	大内 敏文
10	②	檜葉町立あおぞらこども園長	坂本 巖
11	③	福島県精神保健福祉協会相双支部長	熊倉 徹雄
12	④	南相馬市社会福祉協議会長	西浦 武義
13	一般① (福祉⑤)	相馬市自立支援協議会長	須藤 康宏
14	行政①	相馬市保健センター所長	赤石澤 珍夫
15	②	南相馬市健康福祉部次長兼園寿福祉課長	山田 祐子
16	③	川内村保健福祉課長	猪狩 恵子
17	④	相馬地方広域市町村圏組合事務局長	橘川 茂男
18	⑤	双葉地方広域市町村圏組合事務局長	秋元 正國
19	⑥	県相双地方振興局長	佐々木 秀三
20	⑦	県相双教育事務所長	佐藤 由弘

3 地域医療介護総合確保基金事業【所重点】

団塊の世代が後期高齢者となる平成 35 (2025) 年を見据え、医療介護総合確保促進法に基づく福島県計画や地域における在宅医療の在り方等について協議するため、相双地区地域包括ケアシステム構築推進会議を開催しました。

開催月日・会場	議 事
平成 31 年 3 月 22 日 ふたば医療センター附属 病院 大会議室	介護給付の適正化について 第一号被保険者の介護保険料 (H30-32年度) が全国最高額となった葛尾村が、給付費の抑制や理解促進、介護予防の推進に向け今年度検討した経過・結果について、やはり同保険料が高くなっている双葉郡等への情報共有を図りました。

4 福祉避難所の指定促進事業【全庁重点】

県（本庁保健福祉総務課）では「県内全市町村に要配慮者が安心して避難できる避難所が確保され、広域的な避難に対応できる体制が整備されている」ことを目指して、これまで、市町村への指定状況の調査、ガイドラインの作成、市町村への個別訪問、研修会の開催等に取り組んできました。当所は、研修会への参画や未指定市町村への個別訪問同行を担ってきたところです。平成30年度は富岡町の新規指定がありました。

福祉避難所指定済市町村：8市町村（48施設）

未指定市町村：4町村（平成31年3月31日現在）

5 出前講座【創意事業】

保健・衛生・福祉に関する正しい知識の普及啓発を図るため、地域住民、企業、学校等の希望に応じて、当所職員を講師として派遣する「出前講座」を実施しました。

■出前講座実績

	分野	講座名	内 容	対象者	担当課	開催実績
1	健康	健康長寿サポーター育成講座	「福島県健康状況」「食生活」「運動」「社会参加」を基本とした講座 受講者は健康長寿サポーターとして認定する	一般住民 小中高生 事業所	健康増進課	2
2	健康	こころの健康講座	「こころ」の健康の大切さについて	事業所等	保健福祉課	2
3	医療	キビチーちゃん血液講座	生命を維持するために欠くことのできない血液の基礎知識を学び、献血について考える	一般住民 小中高生 事業所	医療薬事課	1
4	医療	薬の正しい使い方	病院等の処方薬や薬屋さんから買った薬の注意点等について	一般住民	医療薬事課	1
5	感染症	感染症予防講座	インフルエンザ、感染性胃腸炎及び性感染症等について（症状から予防策まで）	一般住民 事業所	医療薬事課	9
6	感染症	エイズ・性感染症のおはなし	エイズ等の感染予防や検査方法等について	一般住民 事業所 小中高生 保護者	医療薬事課	1
7	衛生	食品衛生教室	食中毒の原因からその予防まで、食品衛生のルールについて	一般住民 事業所	衛生推進課	7

	分野	講座名	内 容	対象者	担当課	開催実績
8	衛生	理美容消毒衛生講座	理美容の衛生管理について	事業所	衛生推進課	3
9	衛生	温泉の話、お風呂の話	温泉の泉質、温泉の揭示、お風呂の衛生管理について	事業所	衛生推進課	1
10	衛生	宿泊施設衛生講座	宿泊施設の衛生管理について	事業所 一般住民	衛生推進課	2
合計						29

(2) 人材の育成

1 地域保健福祉関係職員研修事業

適切な行政サービスを提供できるようにするため、地域保健福祉関係職員の資質の向上を図りました。

(1) 福島県地域保健福祉職員新任研修のフォローアップ研修

本庁保健福祉総務課主催の新任研修を受講した相双及びいわき管内の県及び市町村職員を対象としたフォローアップ研修を開催しました。

ア 相双管内

開催月日：平成 30 年 9 月 14 日

開催場所：県相双保健福祉事務所 大会議室

参加者：12 人

内 容：講義、演習「相談面接の実践～自己理解と他者理解～」

講師 相馬広域こころのケアセンターなごみ

臨床心理士 足立 知子 氏

作業療法士 西内 実菜 氏

イ いわき市

開催月日：平成 30 年 9 月 13 日

開催場所：県いわき合同庁舎 南 3 階 大会議室

参加者：13 人

内 容：①講義「円滑なコミュニケーションのコツ」

講師 ふくしま心のケアセンター いわき方部センター

作業療法士 菅野 寿洋 氏

②演習・ロールプレイ

(2) 保健医療福祉関係実習生の指導

保健・医療・福祉従事者養成機関等の要請に応じて、当該学生に対する教育指導を行いました。

実習生指導実績

実施機関、対象	人員	日数	実習期間
福島県立医科大学看護学部4年（基礎看護学部門）	2	6	6/12、7/5、7/10、7/19、8/2、8/17
福島県立医科大学看護学部2年（地域を理解する実習）	7	9	11/5～11/9、11/12～11/15
尚絅大学総合人間科学部健康栄養学科3年	3	5	8/27～8/31
宮城学院女子大学生生活科学部食品栄養学科3年	2	5	8/27～8/31
東北生活文化大学家政学部家政学科健康栄養学専攻4年	1	5	8/27～8/31
郡山女子大学家政学部食物栄養学科3年	1	5	8/27～8/31
東北医科薬科大学 5年	1	1	7/5
いわき明星大学 5年	1	1	9/11
奥羽大学 5年	1	1	9/11

2 保健師現任教育推進事業

福島県現任教育指針及びプログラムに基づき、組織全体で現任教育を支える環境を構築しました。

(1) 第1回保健師現任教育 新任期保健師等研修会

開催月日：平成30年7月25日 参加者：22人

内容：(1) 交流会（ワールドカフェ方式）担当：相双保健福祉事務所職員

(2) 講義 「保健師活動指針について」

(3) 講義 「事例検討の意義・手法」

(4) 演習 「事例検討（1事例）」

講師 福島県立医科大学 看護学部地域・在宅看護学部門 講師 古戸順子氏

(2) 第2回保健師現任教育 新任期保健師等研修会

開催月日：平成30年11月22日 参加者：26人

内容：講義・演習 「地域診断の基礎と実践」

講師 福島県立医科大学 医学部疫学講座 教授 大平哲也氏

(3) 第3回保健師現任教育 新任期保健師等研修会

（医大出前講座：平成30年度保健師等支援研修会）

開催月日：平成30年12月20日 参加者：21人

内容：(1) 講義・演習 「地域診断：PCM手法」

(2) ミニ講義 「地域の特性をつなぐ方法」

講師 福島県立医科大学 医学部 健康リスクコミュニケーション学講座

日本学術振興会特別研究員 小林智之氏、保健技師 吉田和樹氏

(4) 第4回保健師現任教育 新任期保健師等研修会

開催月日：平成31年1月18日 参加者：23人

内 容：(1) 講義・演習「事例検討の進め方の確認、事例検討の実際(1事例)」

(2) 演習「先輩事例(1事例)」

(3) 交流会(ワールドカフェ方式) 担当：相双保健福祉事務所職員
講師 福島県立医科大学 看護学部地域・在宅看護学部門 講師 古戸順子氏

3 地域保健福祉活動推進研修事業【所重点】

効果的な地域保健対策を推進するため、市町村等の職員に対する研修を実施し、関係職員の資質の向上を図りました。

(1) 高齢者施設等における感染症予防研修会

開催月日：平成30年9月27日

開催場所：かしま交流センター、介護老人福祉施設 厚寿苑

参加者：17人

内 容：① 事務連絡「高齢者施設等における感染症等発生報告について」

② 講義 ア 感染対策と予防について イ 嘔吐物処理方法

③ 実習「施設内ラウンド(施設内の感染症予防のポイント)」

ア 事務連絡

「高齢者施設等における感染症等発生報告について」

報告者 福島県相双保健福祉事務所職員

イ 講義 「感染対策と予防について」

講師 福島県立医科大学 感染制御学講座

助教 斎藤 恭一 氏

ウ 講義 「嘔吐物処理方法」

講師 南相馬市立総合病院 医療安全管理部

感染対策室 副看護師長 高田 明美 氏

エ 実習 「施設内ラウンド」

講師 福島県立医科大学 感染制御学講座

助教 斎藤恭一 先生

南相馬市立総合病院 医療安全管理部

感染対策室 副看護師長 高田 明美 氏

4 地域医療体験研修事業【所重点】

東日本大震災により県内で最も大きな被害を受けた相双地域の医療や復興の現状について、医療機関や被災地の視察及び地域住民との交流等を通して、理解を深めていただきました。

■体験研修開催実績

単位：人

実施日	内 容	参加者
<p>平成30年 8月7日 ～9日 ※台風の 襲来によ り一部変 更。</p>	<p>(1) 地域医療等の現場視察・事例検討 現場視察を通して、被災地における医療・介護・福祉等の現状と課題等について学んだ。 〔研修先：南相馬市立総合病院、特別養護老人ホーム梅の香、南相馬市社会福祉協議会、南相馬市地域包括支援センター〕</p> <p>(2) 医師や臨床研修医等との懇談 医師や臨床研修医等から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行った。 〔研修先：南相馬市立総合病院、南相馬市立小高病院〕</p> <p>(3) 地域住民との交流 地元に戻った被災者等との交流を通して、被災地の現状について理解を深めた。 〔研修先：南相馬市社会福祉協議会 健康サロン〕</p> <p>(4) 地域視察 被災地の現状と復興への取組状況を視察し、相双地域への理解を深めた。 〔研修先：訪問先所在市町村（通過町含む）：飯舘村、南相馬市、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、檜葉町〕</p> <p>(5) 課題研究・発表 KJ法によるグループワークを行った。〔研修先：J ヴィレッジ〕</p>	<p>12</p>

(3) 青少年の健全育成

1 青少年健全育成調査指導事業

青少年健全育成条例の適正な運用を図るため、有害図書類の購入調査、有害環境の実態調査及び関係業界に対する指導を行いました。

- (1) 有害図書類の指定後における書店等の指導
実施時期：6月、11月、2月（延べ20店舗）
- (2) 自動販売機の届出事項の確認調査及び業界指導
管内においては、有害図書類の自動販売機の設置実績はありませんでした。
- (3) 書店、ビデオ店等実態調査及び業界指導
実施時期：11月（9店舗）

(4) 民間団体等への支援

1 民生委員及び児童委員諸活動支援事業

民間奉仕者である民生委員及び児童委員の活動の支援を通して、社会福祉の増進を図るため、民生委員及び児童委員の選任手続や民生委員協議会への負担金の交付等を行いました。

- (1) 民生委員に対する報償費
対象者数：499人
- (2) 児童委員に対する報償費
対象者数：499人
- (3) 民生委員協議会に対する負担金
対象協議会数：26件

■民生・児童委員の状況

(平 31 年 4 月 1 日現在)

単位：人

市町村名	定数 (うち主任児童委員)	現数 (うち主任児童委員)	民生委員協議会		
			名称	会長	事務局
相馬市 第 1 方部	21 (2)	20 (2)	相馬市第 1 方部民生委員協議会	佐々木 政喜	相馬市 社会福祉課
相馬市 第 2 方部	12 (2)	12 (2)	相馬市第 2 方部民生委員協議会	渡部 晴秀	〃
相馬市 第 3 方部	9 (2)	9 (2)	相馬市第 3 方部民生委員協議会	建藤 洋悦	〃
相馬市 第 4 方部	6 (2)	6 (2)	相馬市第 4 方部民生委員協議会	松村 浩安	〃
相馬市 第 5 方部	6 (2)	6 (2)	相馬市第 5 方部民生委員協議会	桑折 陽子	〃
相馬市 第 6 方部	8 (2)	8 (2)	相馬市第 6 方部民生委員協議会	中城 テル子	〃
相馬市 第 7 方部	7 (2)	7 (2)	相馬市第 7 方部民生委員協議会	荻宿 司	〃
相馬市 第 8 方部	5 (2)	5 (2)	相馬市第 8 方部民生委員協議会	大橋 文子	〃
相馬市 第 9 方部	12 (2)	12 (2)	相馬市第 9 方部民生委員協議会	山中 泰弘	〃
相馬市計	86 (18)	85 (18)	相馬市計	9 民協	
南相馬市 原町区 原町方部	51 (3)	47 (3)	南相馬市原町民生委員児童委員協議会	横山 誠	南相馬市 社会福祉協議会
南相馬市 原町区 高平方部	11 (2)	11 (2)	南相馬市高平民生委員児童委員協議会	渡部 美智子	〃
南相馬市 原町区 大甕方部	12 (2)	11 (2)	南相馬市大甕民生委員児童委員協議会	長谷川 幸雄	〃
南相馬市 原町区 太田方部	10 (2)	10 (2)	南相馬市太田民生委員児童委員協議会	鈴木 信祐	〃
南相馬市 原町区 石神方部	20 (2)	20 (2)	南相馬市石神民生委員児童委員協議会	佐藤 正彦	〃
南相馬市 鹿島方部	34 (2)	31 (2)	南相馬市鹿島民生委員児童委員協議会	木村 敏子	〃
南相馬市 小高方部	36 (2)	34 (2)	南相馬市小高民生委員児童委員協議会	林 靖	〃
南相馬市計	174 (15)	164 (15)	南相馬市計	7 民協	

市町村名	定数 (うち主任児童 委員)	現数 (うち主任児童 委員)	民生委員協議会		
			名称	会長	事務局
広野町	17 (2)	17 (2)	広野町民生委員協議会	久賀 三枝子	広野町健康福祉課
檜葉町	22 (2)	21 (2)	檜葉町民生児童委員協議会	松本 宏美	檜葉町社会福祉協議会
富岡町	34 (2)	33 (2)	富岡町民生児童委員協議会	面川 岩海	富岡町社会福祉協議会
川内村	13 (2)	13 (2)	川内村民生委員協議会	新妻 かつゑ	川内村社会福祉協議会
大熊町	27 (2)	26 (2)	大熊町民生児童委員協議会	根本 友子	大熊町社会福祉協議会
双葉町	20 (2)	19 (2)	双葉町民生児童委員協議会	新工 澄子	双葉町社会福祉協議会
浪江町	59 (3)	56 (3)	浪江町民生委員協議会	鈴木 芳徳	浪江町社会福祉協議会
葛尾村	10 (2)	10 (2)	葛尾村民生児童委員協議会	東海林 憲一	葛尾村社会福祉協議会
新地町	26 (2)	26 (2)	新地町民生児童委員協議会	八巻 円	新地町社会福祉協議会
飯館村	29 (2)	29 (2)	飯館村民生児童委員協議会	松原 光年	飯館村社会福祉協議会
郡部計	257 (21)	250 (21)	郡部計	10民協	
合計	517 (54)	499 (54)	合計	26民協	

(5) 社会福祉法人の認可、法人・施設の適正な運営の確保

1 社会福祉法人指導事務

社会福祉法人・施設の適正な運営を確保するため、社会福祉法に基づく認可等事務を行いました。

社会福祉法人定款変更認可：7件 社会福祉協議会定款変更認可：4件

社会福祉法人定款変更届：1件 社会福祉協議会定款変更届：2件

2 社会福祉法人監督事務

社会福祉事業の健全な経営と公正な運営を確保するため、社会福祉法人に対する指導監査を実施しました。

■社会福祉法人監査の実績

単位：件

種 類	対象数	実施数	備 考
施設経営法人	13	4	
(うち保育所経営法人)	2	0	
町村社会福祉協議会	10	4	
合計	23	8	

(6) 生活保護の適正実施

1 行旅死亡人取扱負担金

行旅病人及び行旅死亡人の医療、葬祭等に要した費用について、遺留金品や扶養義務者等により弁償されない場合に、市町村が負担した費用について、必要経費を審査し、実施機関である市町村へ交付しました。

交付件数：7件

※行旅死亡人とは、行き倒れになって死亡し、遺体の引き取り者がいない人のこと。

(7) 援護事業の推進

1 援護業務施行事務

経常的な下記援護業務を行いました。

- (1) 全国・福島県戦没者追悼式への参列遺族等に関する遺族会との連絡調整

各追悼式へ参列する遺族について、遺族会と連絡調整しました。

- (2) 福島県戦没者追悼式への参画

追悼式の会場設営、参列遺族の案内等を行いました。

開催月日：平成30年11月20日

開催場所：とうほう・みんなの文化センター（県文化センター）

- (3) 管内の戦没者追悼式への参列

管内の戦没者追悼式へ相双保健福祉事務所長が参列し、献花を行いました。

- ア 双葉郡並びに富岡町戦没者追悼式・慰霊祭

開催月日：平成30年10月16日

開催場所：富岡町文化交流センター学びの森

- イ 平和を願い戦没者を追悼する市民の式典

開催月日：平成30年11月13日

開催場所：相馬市総合福祉センター はまなす館

2 戦傷病者特別援護法に基づく援護業務

戦傷病者特別援護法に基づき、戦傷病者乗車券類引換証の交付等に関する事務を行いました。

- (1) 引換証の交付 交付件数：3件 交付枚数：10枚

- (2) 引換証一覧表の整理